

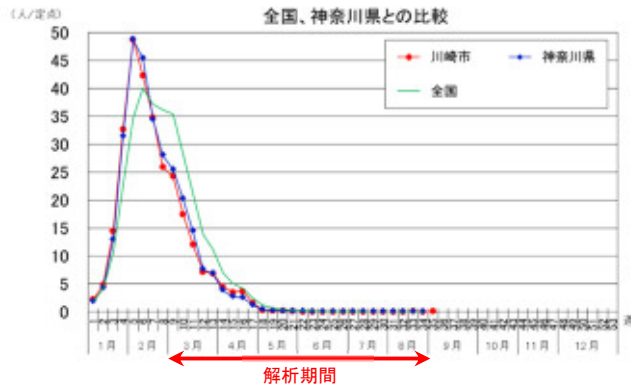
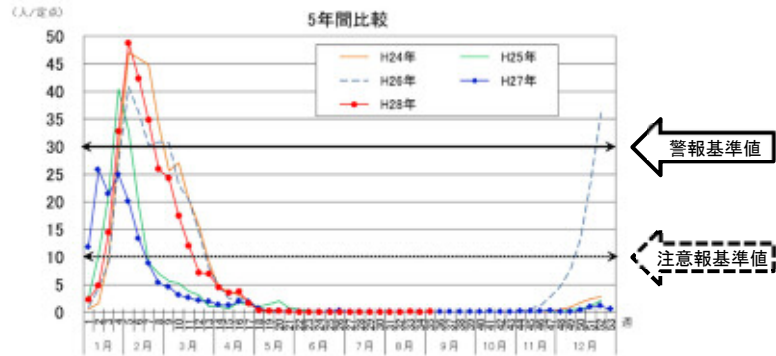
# 疾患別発生状況解析(平成 28 年 3 月～平成 28 年 8 月)

## <インフルエンザ定点対象疾患>

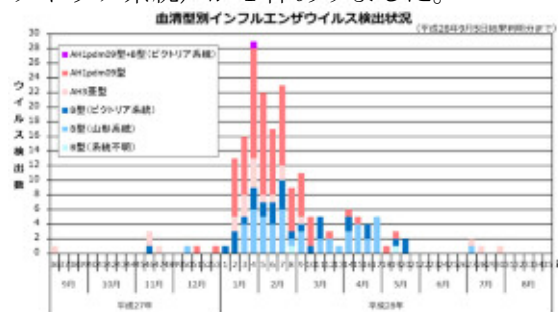
インフルエンザ(警報基準値:定点当たり 30 人、注意報基準値:定点当たり 10 人)

### 【川崎市】

今期(平成 28 年 3 月～8 月)は定点当たり 2.86 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.05 倍で、例年並みのレベルで推移しました。2015/2016 シーズンは、例年に比べて 2 週間程度遅れて流行が始まり、第 3 週に流行発生注意報基準値(定点当たり 10 人)、第 4 週に流行警報基準値(定点当たり 30 人)を超え、第 5 週に流行のピークとなりました。



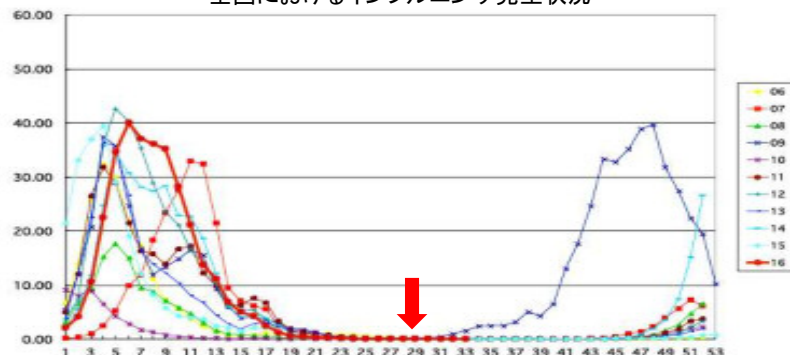
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。2015/2016 シーズンは、AH1pdm09 型が 88 件、B 型(山形系統)が 50 件、B 型(ビクトリア系統)が 31 件、AH3 亜型が 21 件、B 型(系統不明)が 2 件、AH1pdm09 型+B 型(ビクトリア系統)が 1 件ありました。



### 【全国及びその他】

全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。

全国におけるインフルエンザ発生状況

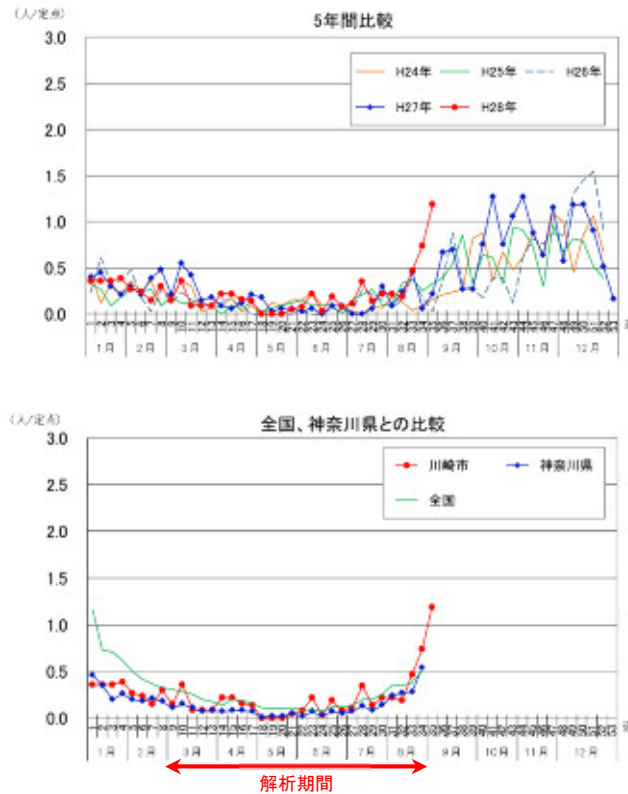


## <小児科定点対象疾患>

### RSウイルス感染症

#### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.21 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.91 倍で、例年より高いレベルで推移しました。今年は 8 月以降患者報告数が増加し、第 35 週は定点当たり報告数が 1.19 人と冬期と同程度の報告がありました。



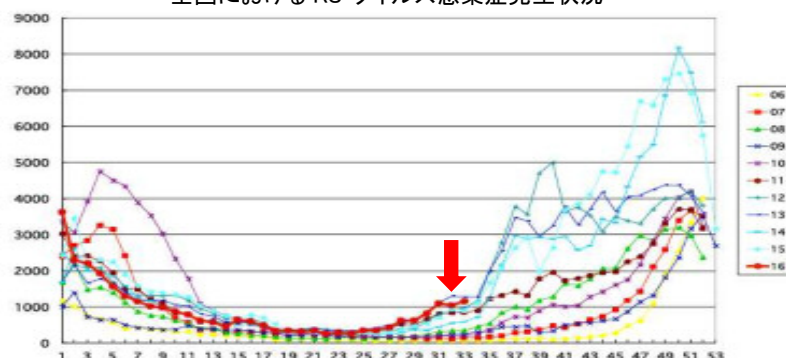
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.6.13	中原区	男	4 か月	RS ウイルス	A 型
H28.6.13	中原区	男	10 か月	RS ウイルス	A 型
H28.8.2	高津区	男	1 か月	RS ウイルス	B 型
H28.8.19	多摩区	男	6 か月	RS ウイルス	A 型
H28.8.22	多摩区	男	10 か月	RS ウイルス	B 型

#### 【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。

全国における RS ウイルス感染症発生状況

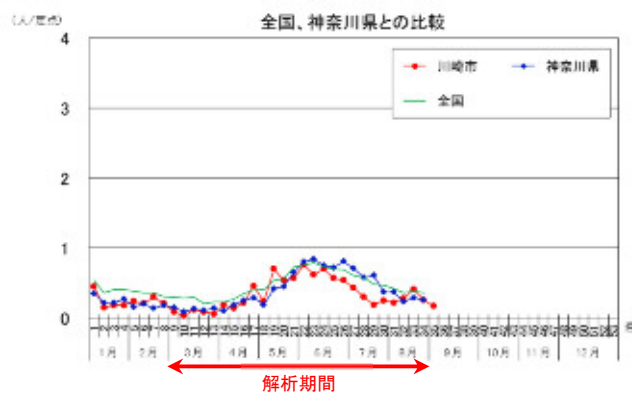
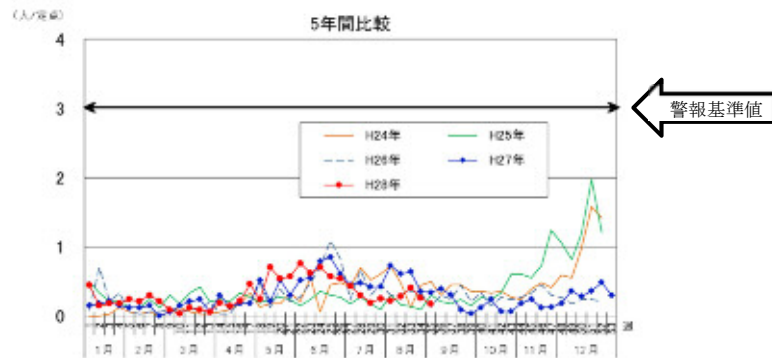


## 咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり3人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.34 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.10 倍で、例年並みのレベルで推移しましたが、5月中旬から6月中旬までは例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (3) を超えた週はありませんでした。



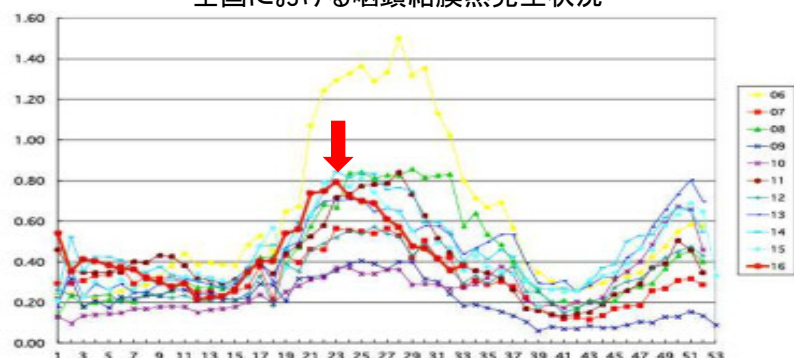
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果
H28.4.22	幸区	男	7	アデノウイルス 4 型
H28.5.16	中原区	男	3	アデノウイルス 4 型
H28.5.16	中原区	女	8	アデノウイルス 4 型
H28.5.23	中原区	男	1	陰性
H28.5.23	中原区	男	1	陰性
H28.5.25	中原区	女	1	陰性
H28.6.2	多摩区	男	3	アデノウイルス 2 型
H28.6.3	中原区	女	9 か月	アデノウイルス 2 型
H28.6.6	多摩区	女	1	アデノウイルス 2 型
H28.6.14	幸区	女	2	陰性
H28.7.4	多摩区	女	1	アデノウイルス 1 型
H28.8.8	幸区	女	3	アデノウイルス 1 型

### 【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。

全国における咽頭結膜熱発生状況

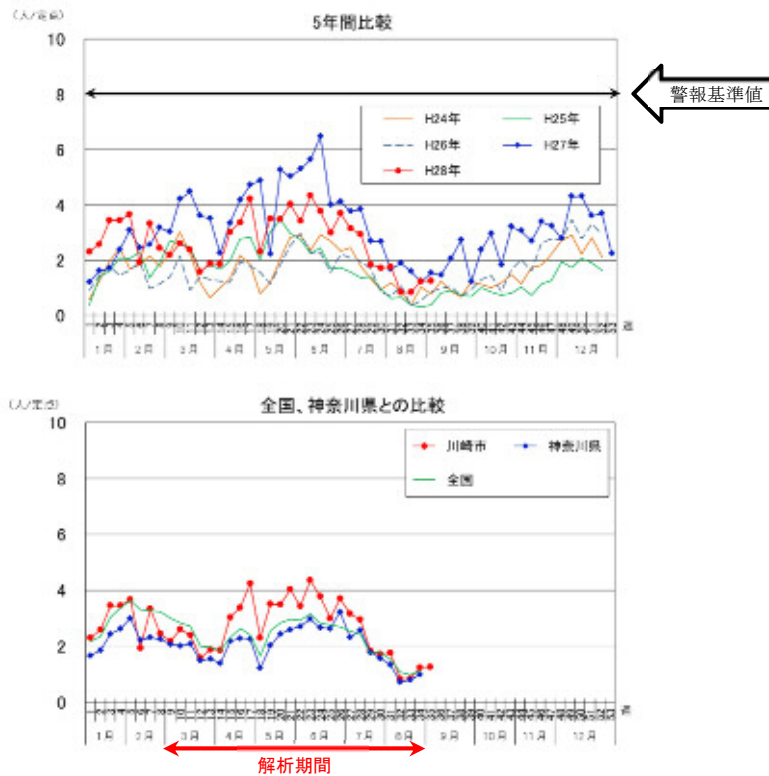


## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 2.64 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.29 倍で、データ収集開始以降過去最多の報告数であった平成 27 年に引き続き、第 1 週から例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (8) を超えた週は、多摩区で第 17 週 (8.6 人)、宮前区で第 23 週 (8.3 人) でした。

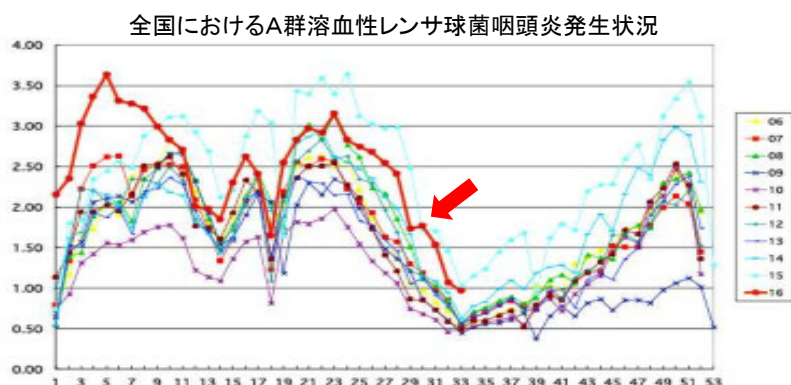


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	T 型別
H28.4.7	川崎区	女	4	A 群溶血性レンサ球菌	T3
H28.4.8	幸区	男	9	A 群溶血性レンサ球菌	T12
H28.4.15	幸区	女	10	A 群溶血性レンサ球菌	T4
H28.4.25	中原区	女	4	A 群溶血性レンサ球菌	TB3264
H28.5.2	中原区	男	5	A 群溶血性レンサ球菌	T12
H28.5.25	中原区	男	5	不検出	—
H28.6.6	中原区	男	5	A 群溶血性レンサ球菌	T6
H28.6.7	川崎区	男	6	A 群溶血性レンサ球菌	TB3264
H28.6.8	多摩区	女	6	A 群溶血性レンサ球菌	T3
H28.6.13	高津区	女	8	A 群溶血性レンサ球菌	TB3264
H28.7.4	川崎区	男	2	不検出	—
H28.7.14	川崎区	女	4	不検出	—
H28.7.29	中原区	男	1 か月	A 群溶血性レンサ球菌	TB3264

### 【全国及びその他】

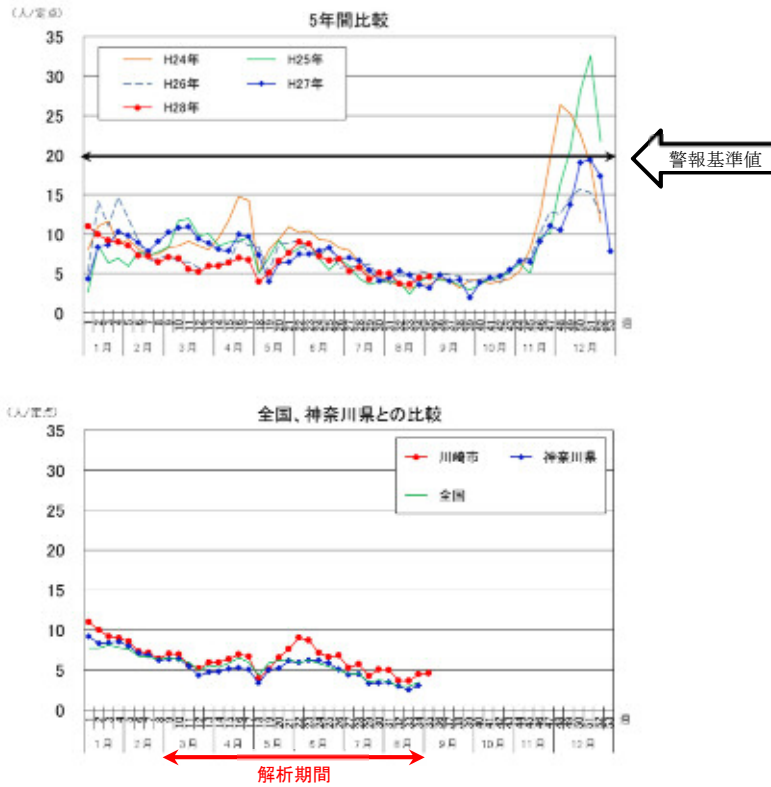
全国的にも例年より高いレベルで推移しました。



# 感染性胃腸炎(警報基準値:定点当たり 20 人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 5.95 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.85 倍で、例年並みのレベルで推移しました。また、年齢別では 5 歳以下が 69%を占めていました。



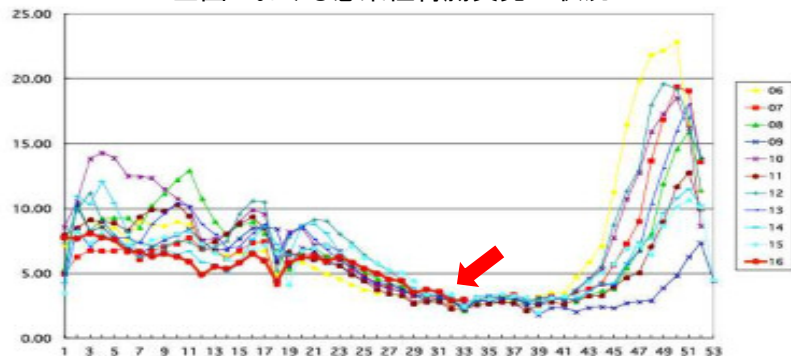
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果(ウイルス)	血清型	検査結果(細菌)
H28.4.7	川崎区	男	2	陰性	-	陰性
H28.4.7	中原区	女	2	陰性	-	陰性
H28.4.22	麻生区	女	8	-	-	陰性
H28.4.26	幸区	男	7か月	陰性	-	陰性
H28.5.9	幸区	女	7か月	陰性	-	陰性
H28.5.31	幸区	男	5	ロタウイルス	G2P[4]	陰性
H28.6.6	川崎区	女	9か月	陰性	-	陰性
H28.6.17	幸区	男	9か月	陰性	-	陰性
H28.7.7	川崎区	女	5か月	アデノウイルス	1型	陰性

## 【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。

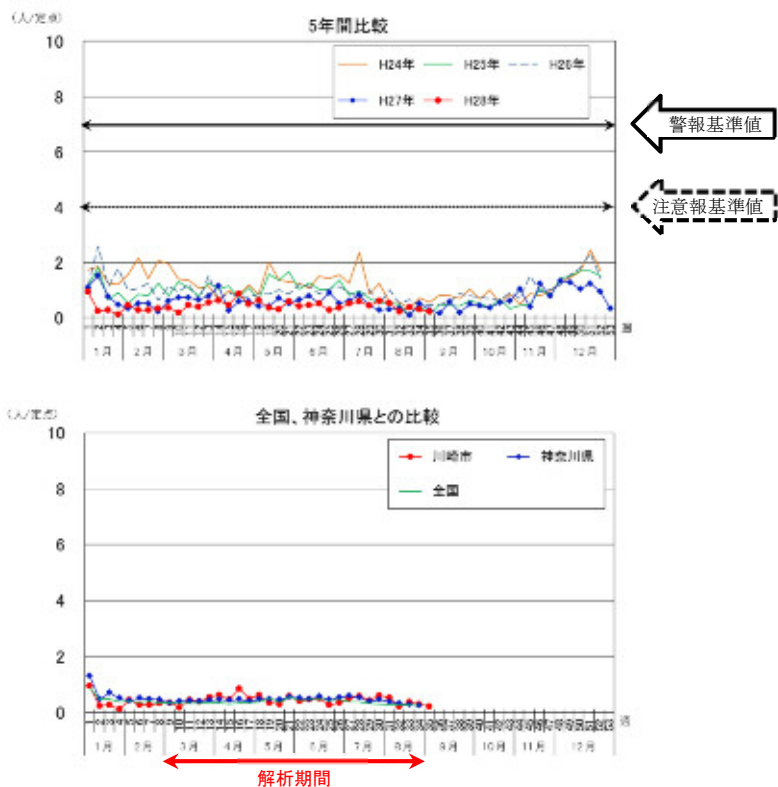
全国における感染性胃腸炎発生状況



水痘(警報基準値:定点当たり7人、注意報基準値:定点当たり4人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.45 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.49 倍で、例年より低いレベルで推移しました。平成 26 年 10 月から水痘ワクチンの定期予防接種が導入された影響が示唆されます。

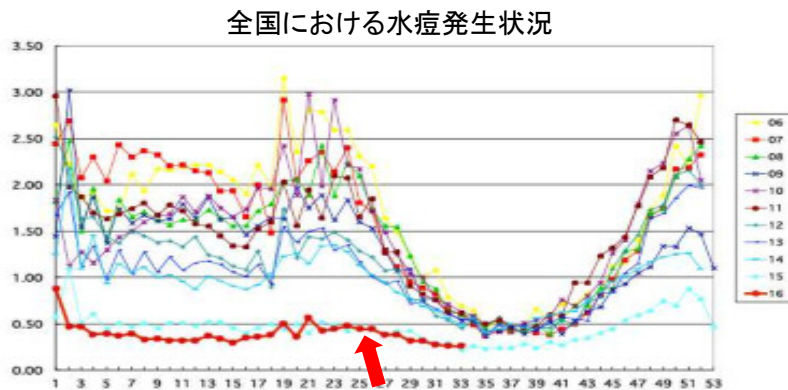


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.4.11	中原区	女	5	陽性	水痘・带状疱疹ウイルス
H28.5.6	幸区	男	5	陽性	水痘・带状疱疹ウイルス
H28.5.10	川崎区	女	7	陽性	水痘・带状疱疹ウイルス

【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

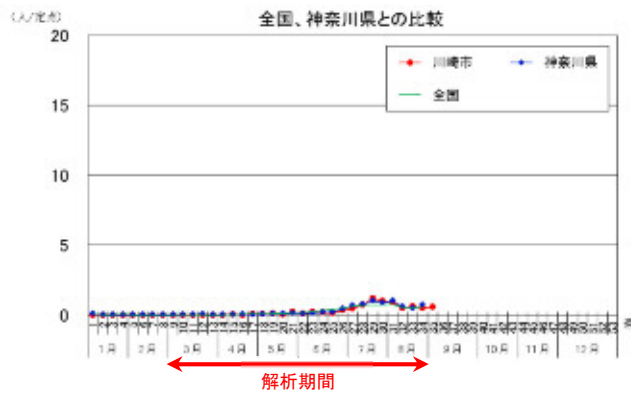
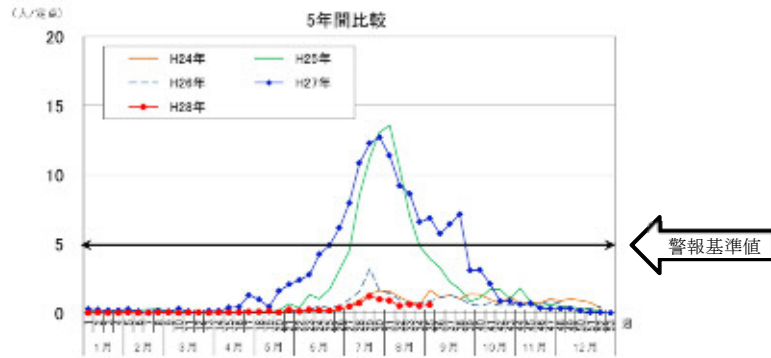


# 手足口病(警報基準値:定点当たり5人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.31 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.13 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (5) を超えた週はありませんでした。



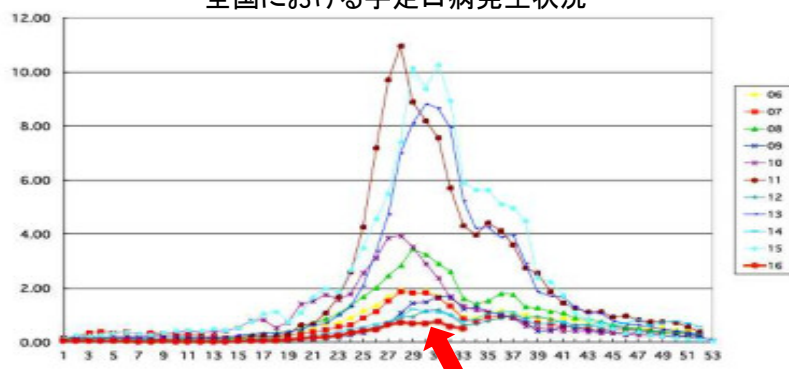
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.4.12	中原区	男	4	ヒトヘルペスウイルス	7
H28.7.14	多摩区	男	1	陰性	—
H28.7.20	麻生区	男	2	陰性	—
H28.7.26	高津区	男	3	ヒトヘルペスウイルス	7
H28.7.26	多摩区	男	3	コクサッキーウイルス	A16
H28.7.29	多摩区	女	4	コクサッキーウイルス	A16
				ライノウイルス	—
H28.8.29	高津区	女	1	コクサッキーウイルス	A6
				ライノウイルス	A

## 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

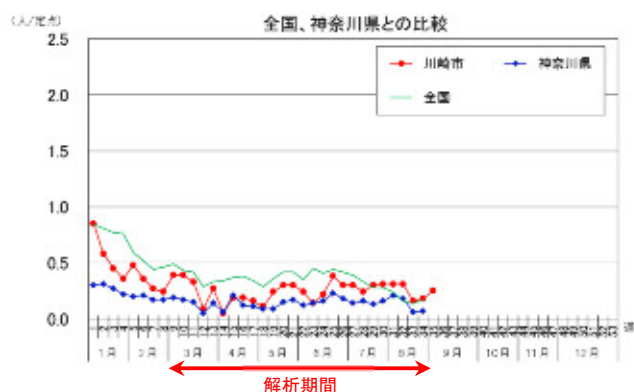
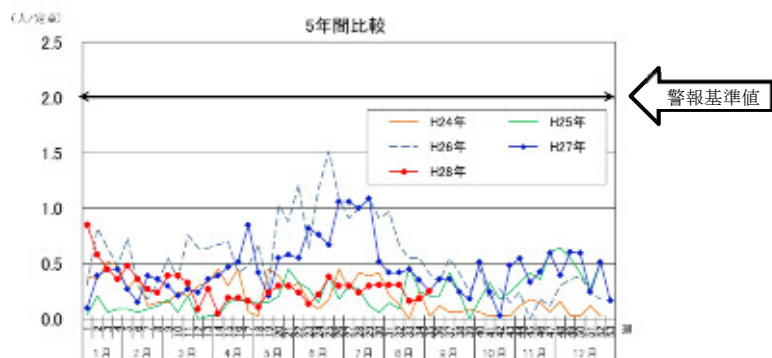
全国における手足口病発生状況



## 伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.25 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.53 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

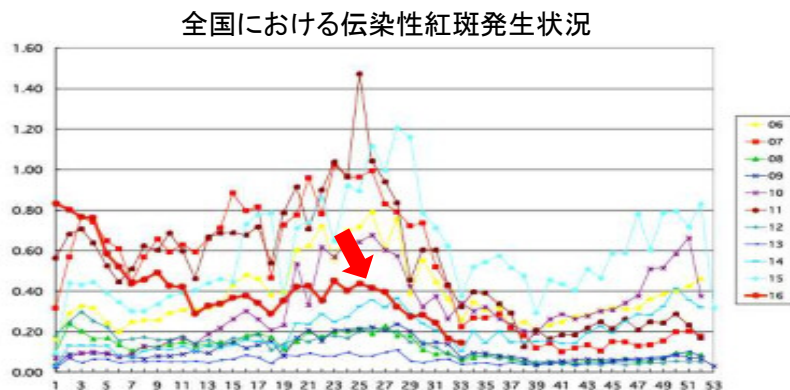


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.4.14	川崎区	男	5	ヒトヘルペスウイルス	7
H28.4.21	川崎区	男	5	パルボウイルス	B19
				ヒトヘルペスウイルス	7
H28.6.3	中原区	女	3	パルボウイルス	B19
H28.6.27	中原区	男	3	パルボウイルス	B19
H28.7.1	中原区	男	8	コクサッキーウイルス	A2

### 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。



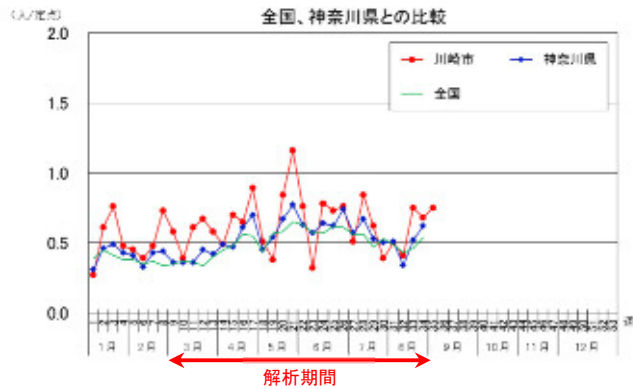
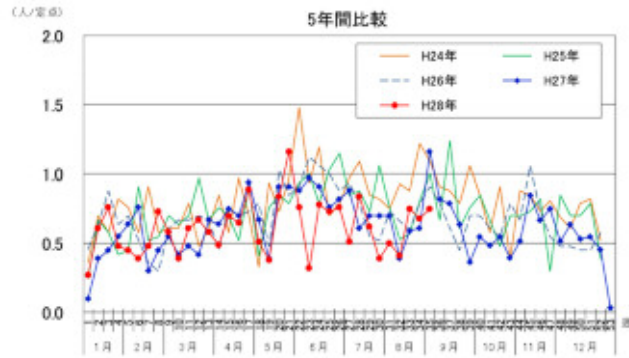


# 突発性発しん

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.64 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.80 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

また、年齢別では 1 歳以下が 85%を占めていました。

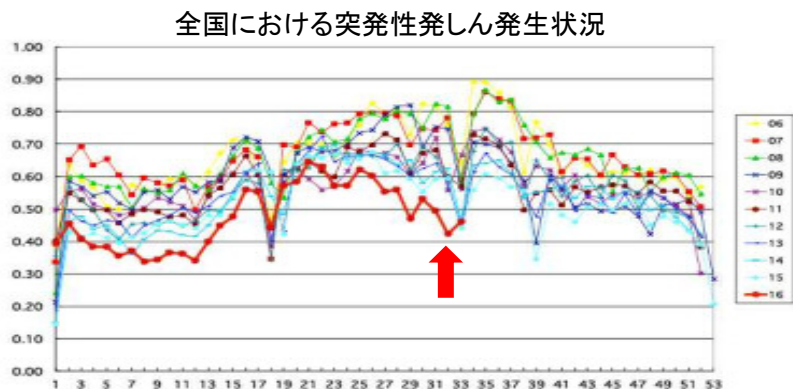


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.4.11	川崎区	女	6	ヒトヘルペスウイルス	7
H28.6.16	多摩区	男	1	ヒトヘルペスウイルス	6
H28.9.1	多摩区	女	1	ヒトヘルペスウイルス	6

## 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

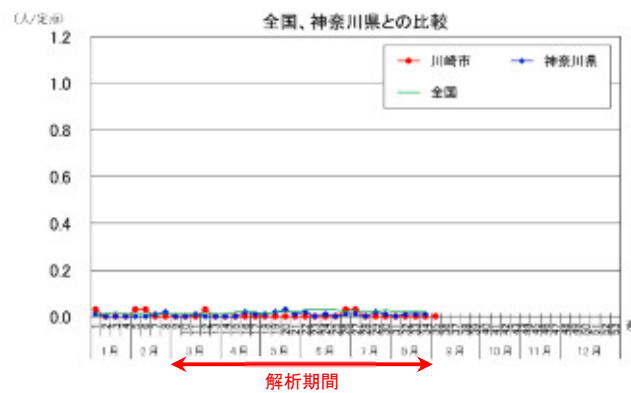
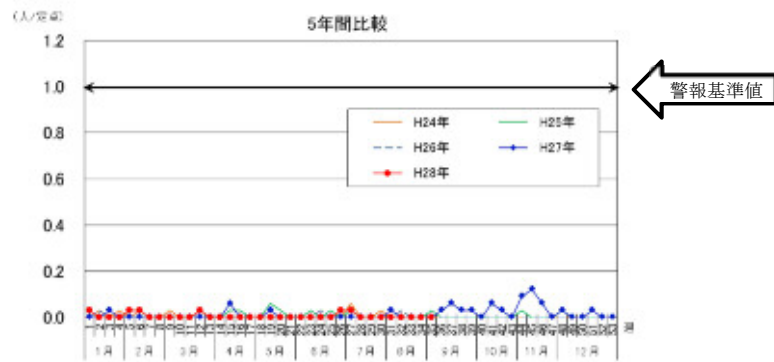


## 百日咳(警報基準値:定点当たり1人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.003 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.54 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

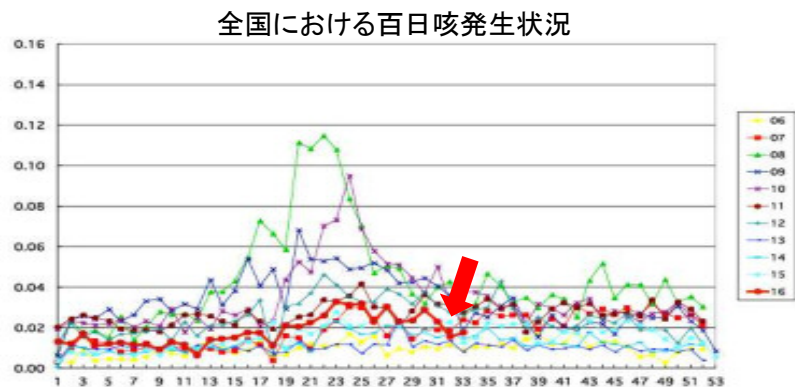
また、年齢別では 3 件全て 20 歳以上でした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

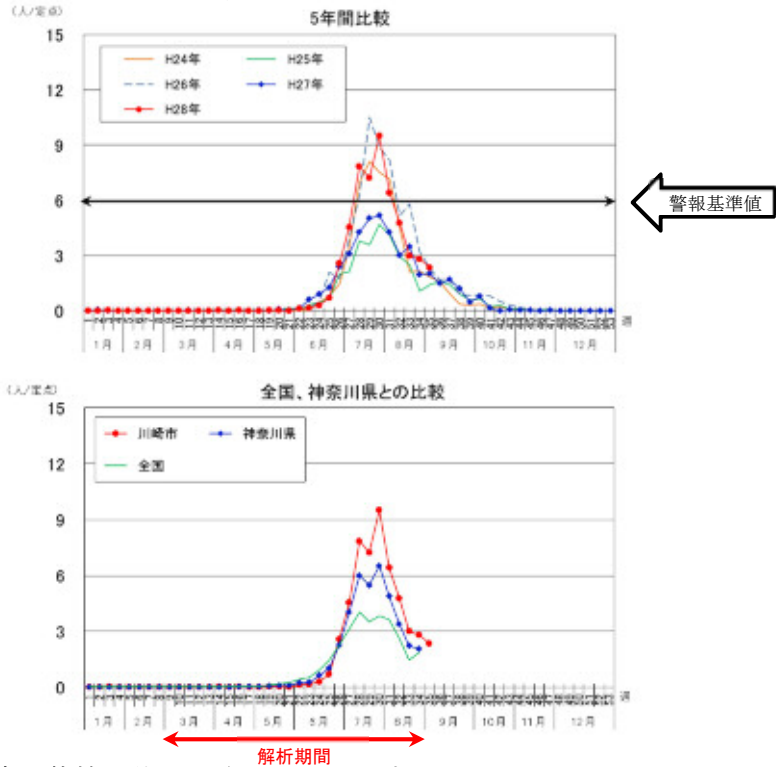


# ヘルパンギーナ(警報基準値:定点当たり6人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 1.95 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.26 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。

今期、第 28 週～第 31 週に全市で流行発生警報基準値 (6) を超えました。



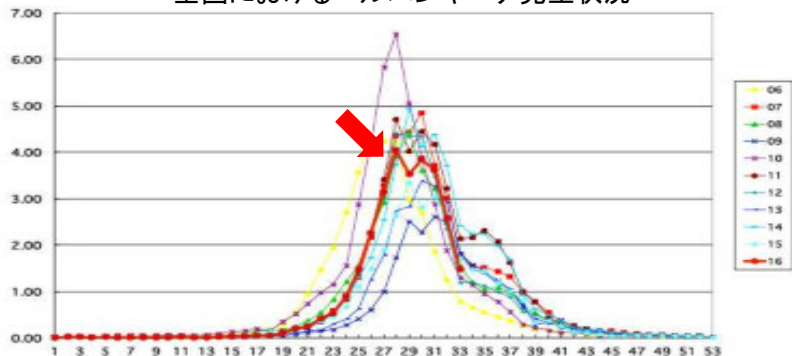
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.7.6	多摩区	男	1	コクサッキーウイルス	A2
H28.7.8	中原区	男	8 か月	ライノウイルス	—
H28.7.11	多摩区	女	3	コクサッキーウイルス	A2
H28.7.12	多摩区	女	1	コクサッキーウイルス	A4
H28.7.13	中原区	男	9 か月	コクサッキーウイルス	A4
H28.7.13	中原区	男	9 か月	コクサッキーウイルス	A4
H28.7.13	中原区	男	2	コクサッキーウイルス	B5
H28.7.13	中原区	女	1	コクサッキーウイルス	A4
H28.7.13	中原区	男	1	コクサッキーウイルス	A2
H28.7.14	川崎区	女	3	陰性	—
H28.7.14	高津区	男	2	コクサッキーウイルス	A2
H28.7.14	宮前区	男	1	コクサッキーウイルス	A4
H28.7.19	多摩区	女	5	コクサッキーウイルス	A4
H28.7.27	中原区	女	1	アデノウイルス	53
H28.8.5	中原区	女	3	コクサッキーウイルス	A5
H28.8.10	中原区	男	3	コクサッキーウイルス	A5

## 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

全国におけるヘルパンギーナ発生状況

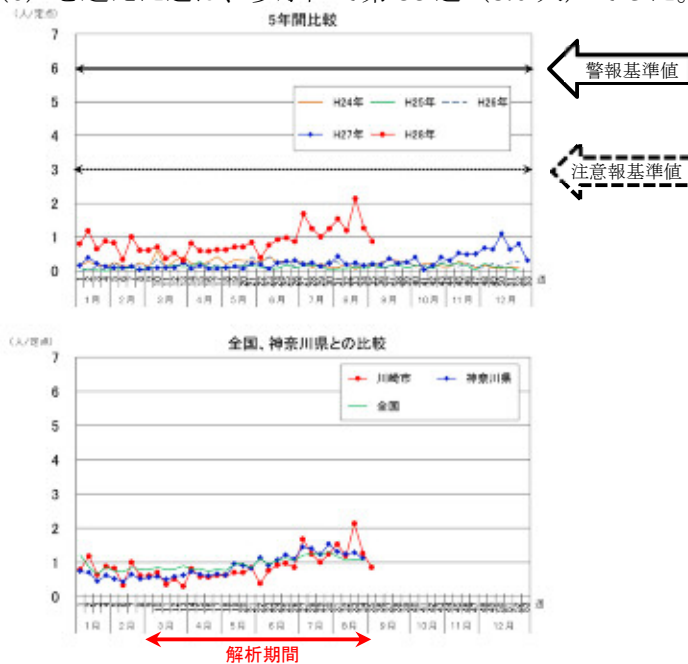


## 流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.89 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 3.87 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。流行のピークは第 33 週の定点当たり 2.13 人で、過去 10 年間で最大の報告数でした。

今期、流行発生警報基準値 (6) を超えた週は、多摩区で第 33 週 (8.0 人) でした。



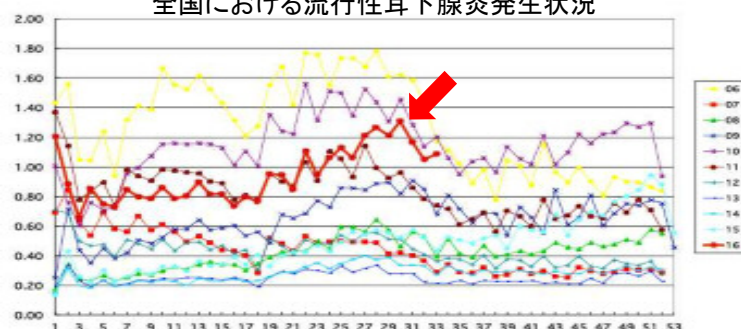
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.4.5	川崎区	男	3	ムンプスウイルス	G 型
H28.4.12	中原区	男	12	ムンプスウイルス	G 型
H28.4.14	宮前区	男	6	ムンプスウイルス	G 型
H28.4.15	中原区	男	8	陰性	—
H28.4.18	多摩区	男	8	ムンプスウイルス	G 型
H28.4.18	中原区	男	7	ムンプスウイルス	G 型
H28.4.25	中原区	女	14	ムンプスウイルス	G 型
H28.4.28	多摩区	男	5	ムンプスウイルス	G 型
H28.5.10	多摩区	男	7	ムンプスウイルス	G 型
H28.5.12	多摩区	男	6	ムンプスウイルス	G 型
H28.5.17	川崎区	男	8	陰性	—
H28.5.17	多摩区	男	10	陰性	—
H28.6.10	中原区	男	5	ムンプスウイルス	G 型
H28.6.13	麻生区	男	10	陰性	—
H28.7.13	中原区	女	11	陰性	—
H28.8.2	多摩区	男	10	ムンプスウイルス	G 型
H28.8.10	川崎区	男	6	ムンプスウイルス	G 型
H28.8.30	多摩区	男	9	ムンプスウイルス	G 型

### 【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。

全国における流行性耳下腺炎発生状況

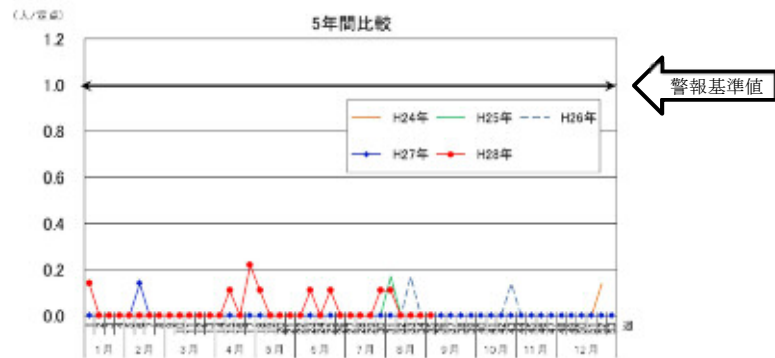


## <眼科定点対象疾患>

### 急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

#### 【川崎市】

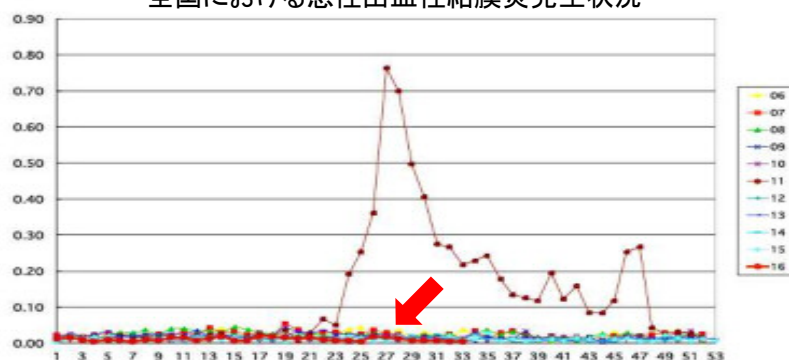
今期は定点当たり 0.03 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 3.00 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。



#### 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

#### 全国における急性出血性結膜炎発生状況

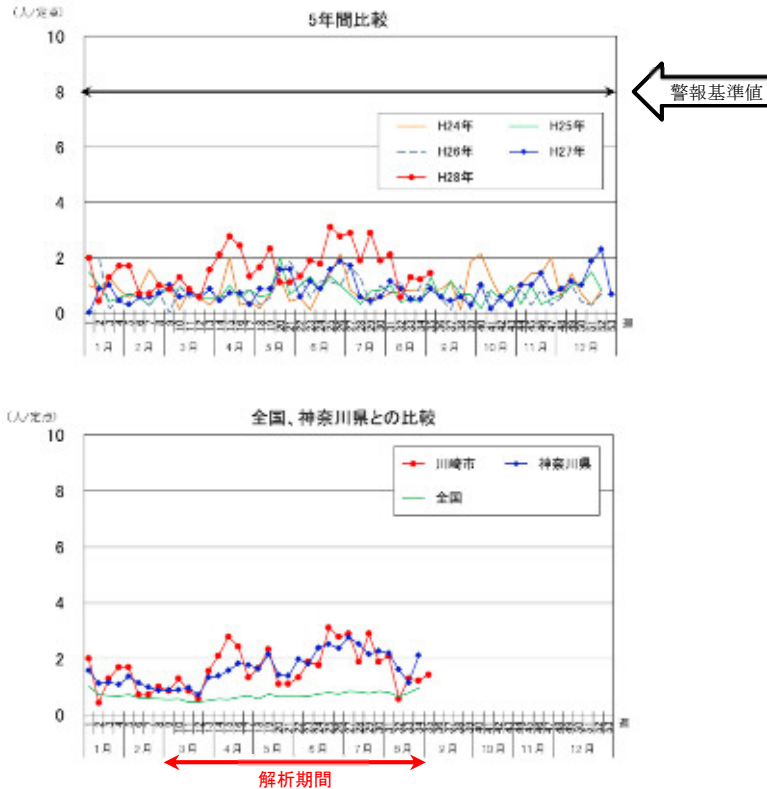


## 流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 1.79 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 2.06 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。第 13 週以降報告数が増加し、第 25 週は定点当たり 3.11 人となり過去 5 年間で最大の報告数でした。

今期、流行発生警報基準値 (8) を超えた週は、麻生区で第 24 週 (9.0 人)、第 25 週 (13.0 人)、第 26 週 (8.0 人)、第 27 週 (13.0 人) でした。

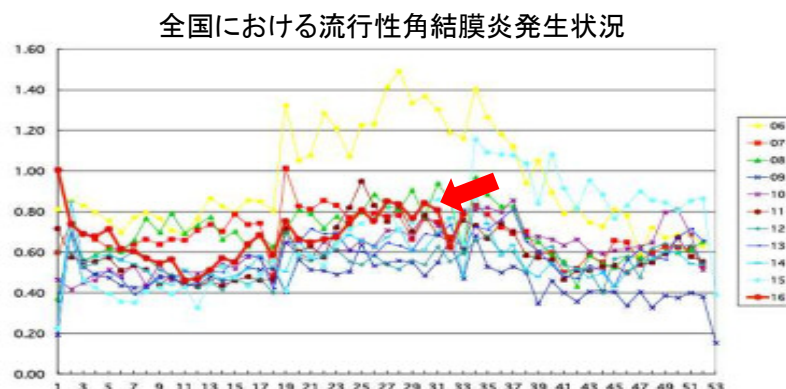


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)
H28.3.14	川崎区	男	33	アデノウイルス	56
H28.5.23	川崎区	男	31	アデノウイルス	未同定
H28.6.21	川崎区	男	57	アデノウイルス	37
H28.6.27	川崎区	男	27	アデノウイルス	1
H28.7.11	川崎区	女	30	アデノウイルス	54

### 【全国及びその他】

全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。

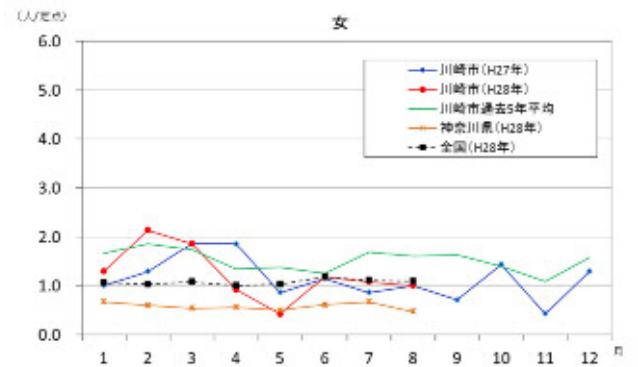
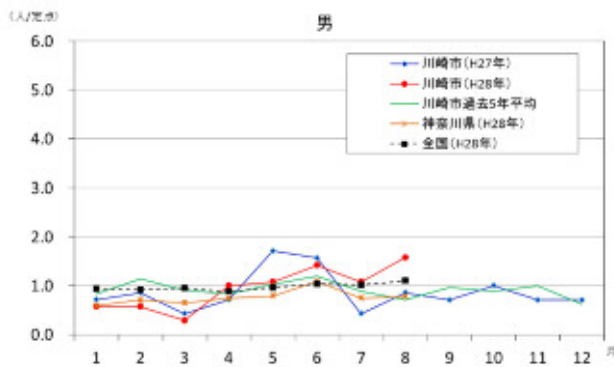
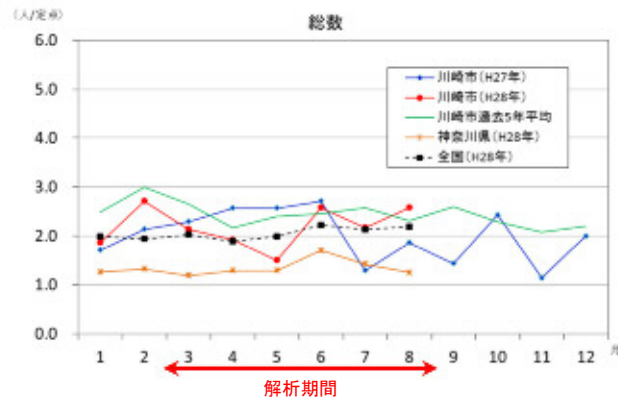


# <性感染症定点対象疾患>

## 性器クラミジア感染症

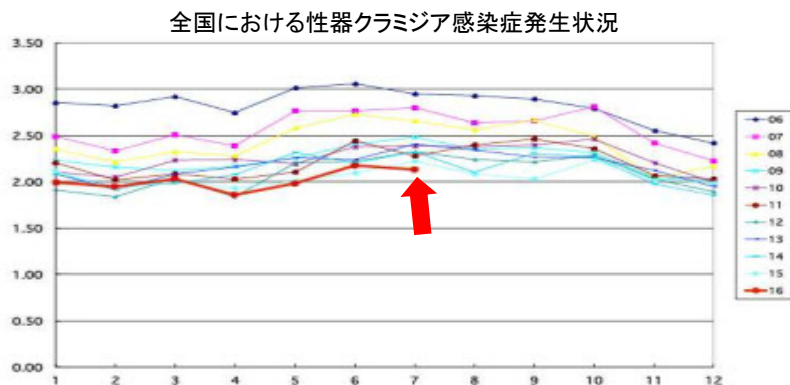
### 【川崎市】

今期は定点当たり 2.17 人報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.89 倍で、例年並みのレベルで推移しました。



### 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

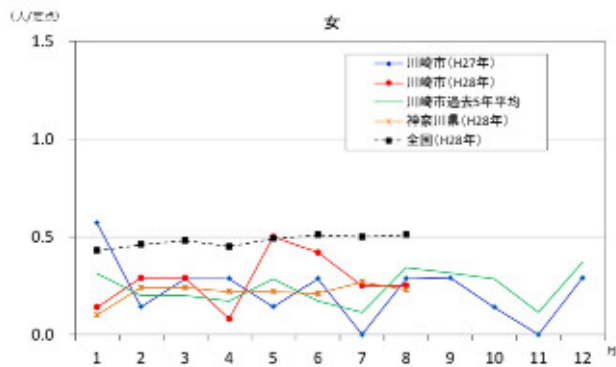
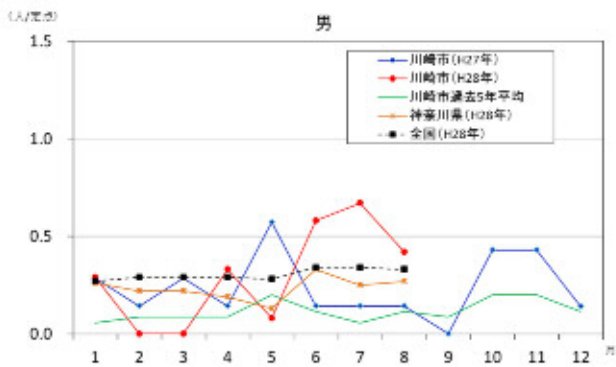
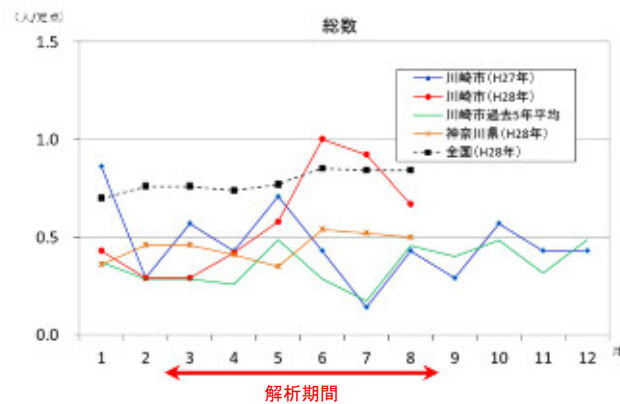


# 性器ヘルペスウイルス感染症

## 【川崎市】

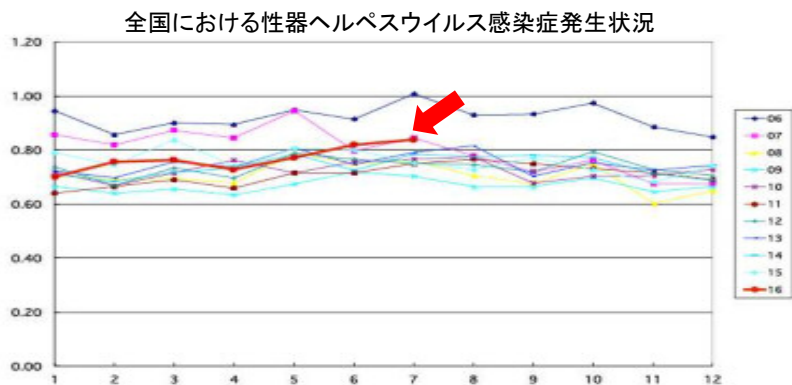
今期は定点当たり 0.67 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 2.09 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。

4 月以降患者報告数が増加し、男性は 6 月、7 月、女性は 5 月に特に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

全国的には例年より高いレベルで推移しました。



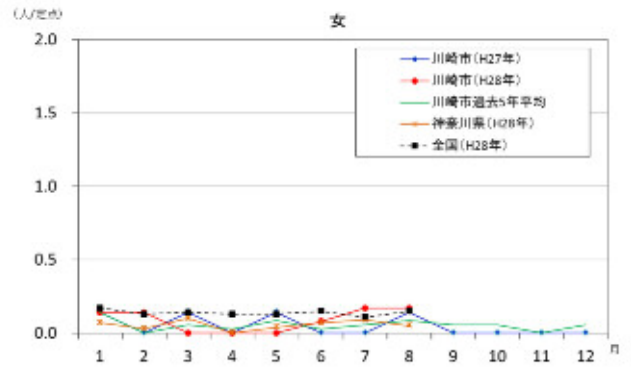
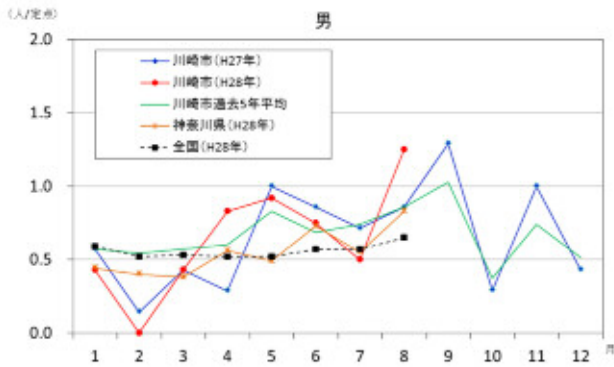
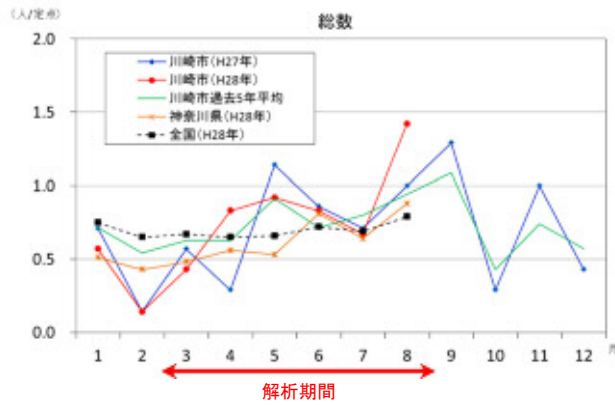




# 淋菌感染症

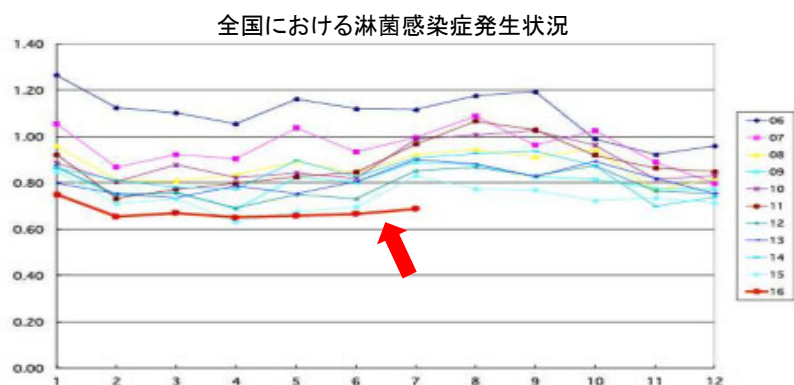
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.88 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.14 倍で、例年並みのレベルで推移しました。特に男性の報告数が多く、全体の 92%を占めていました。



## 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

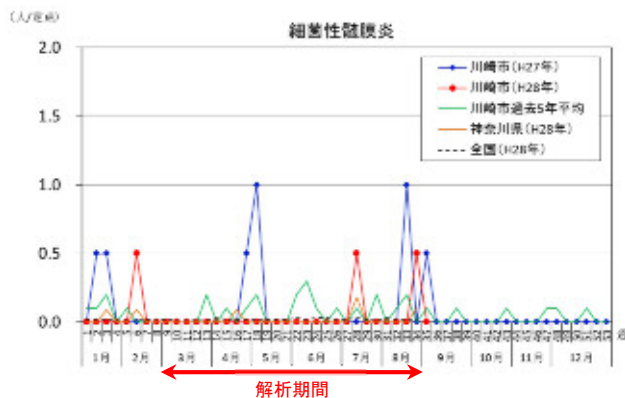


## <基幹定点対象疾患（週報）>

### 細菌性髄膜炎

#### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.04 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.57 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

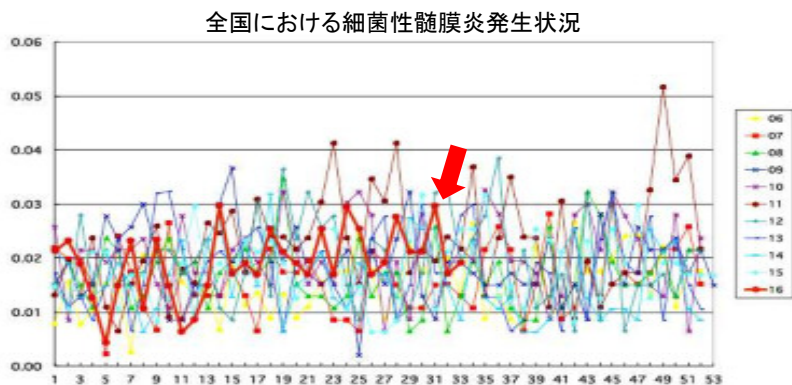


なお、検出された病原菌は次のとおりです。

届出週	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査部位
第 28 週	宮前区	男	41	<i>Corynebacterium striatum</i>	髄液
第 34 週	川崎区	男	66	<i>Corynebacterium tuberculostercium</i>	髄液

#### 【全国及びその他】

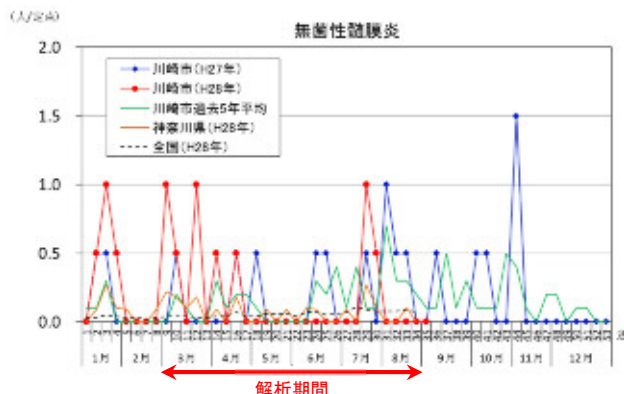
全国的には例年並みのレベルで推移しました。



## 無菌性髄膜炎

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.19 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.12 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

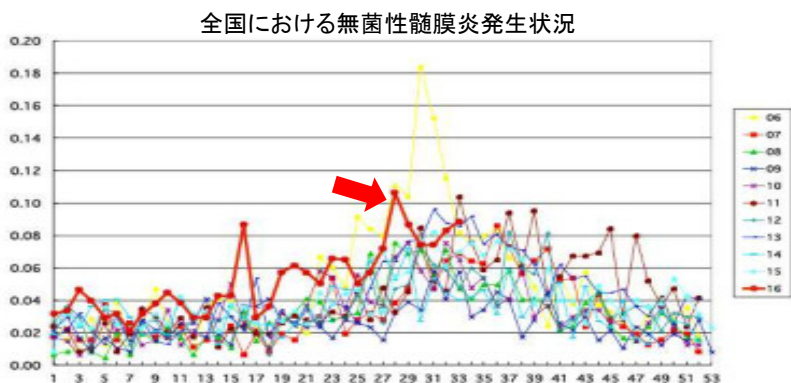


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果	検査結果(亜型)	検査部位
H28.3.4	川崎	男	29	陰性	—	髄液
H28.3.4	川崎	男	75	陽性	水痘帯状疱疹ウイルス	髄液
H28.3.18	宮前	女	1 か月	陰性	—	髄液
H28.3.18	宮前	女	1 か月	陰性	—	咽頭ぬぐい液
H28.3.18	宮前	女	1 か月	陰性	—	直腸ぬぐい液
H28.4.6	宮前	女	0 か月	陰性	—	髄液
H28.4.6	宮前	女	0 か月	単純ヘルペスウイルス	1	血清
H28.4.6	宮前	女	0 か月	単純ヘルペスウイルス	1	水疱内容
H28.4.6	宮前	女	0 か月	単純ヘルペスウイルス	1	眼、咽頭ぬぐい液、直腸ぬぐい液
H28.4.22	川崎	女	44	陰性	—	髄液
H28.4.23	宮前	女	30	エコーウイルス	16	髄液
H28.4.23	宮前	女	30	ライノウイルス	—	咽頭ぬぐい液
H28.4.23	宮前	女	30	エコーウイルス	16	ふん便
H28.6.2	宮前	男	1	陰性	—	髄液
H28.6.9	川崎	女	28	陰性	—	髄液
H28.7.21	川崎	女	0 か月	エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B3	髄液
H28.7.21	川崎	女	0 か月	陰性	—	咽頭ぬぐい液
H28.7.21	川崎	女	0 か月	陰性	—	血清
H28.7.21	川崎	女	0 か月	エンテロウイルス	コクサッキーウイルス B3	ふん便
H28.7.25	川崎	男	63	陰性	—	髄液

### 【全国及びその他】

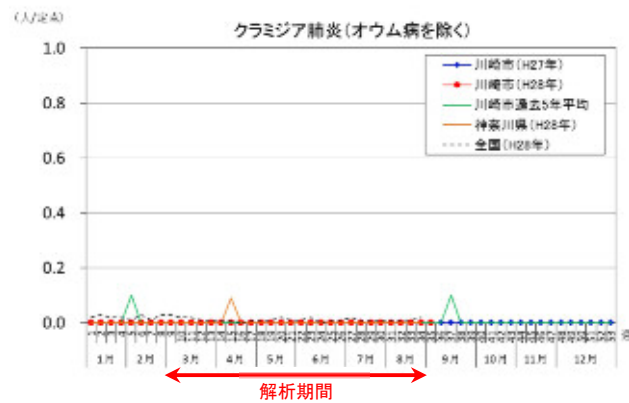
全国的には例年より高いレベルで推移しました。



## クラミジア肺炎(オウム病を除く)

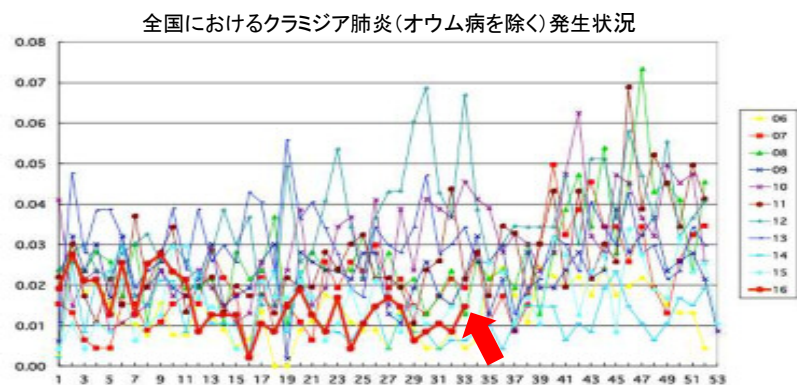
### 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



### 【全国及びその他】

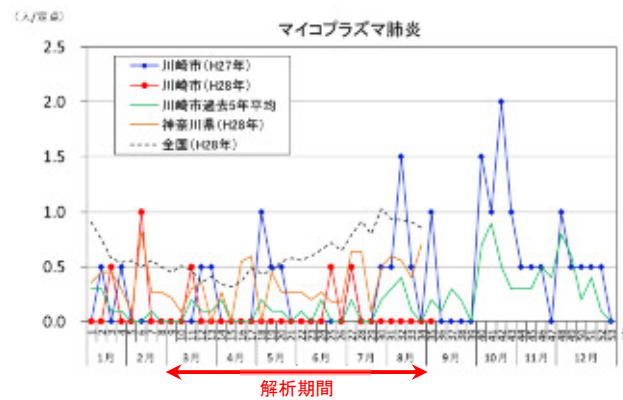
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



## マイコプラズマ肺炎

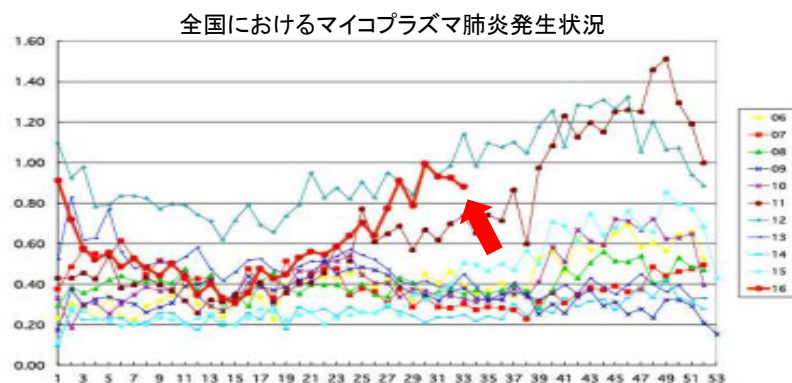
### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.07 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.70 倍で、例年より低いレベルで推移しました。



### 【全国及びその他】

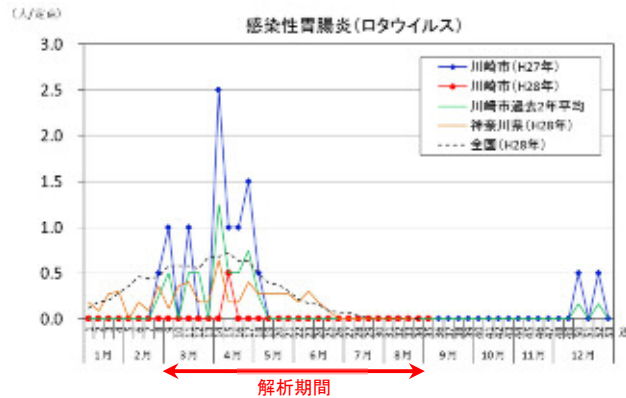
全国的には、6月まで例年並みのレベルで推移しましたが、7月以降は高いレベルで推移しました。



## 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.02 人の報告があり、過去 2 年平均の報告数と比較すると 0.11 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。



なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	患者性別	患者年齢	検査結果(ウイルス)	血清型
H28.4.13	川崎区	女	2 か月	ロタウイルス	G4P[8]
H28.5.31	川崎区	女	2	ロタウイルス	G2P[4]
H28.6.7	川崎区	男	4	ロタウイルス	G2P[4]

※単価ワクチン：G1P[8]を成分とした弱毒生ワクチン

※5価ワクチン：G1、G2、G3、G4、P1A[8] を成分とした弱毒生ワクチン

単価ワクチン及び5価ワクチンについては、いずれも G1P[8]、G2P[4]、G3P[8]、G4P[8]、G9P[8]に効果があると添付文書に記載されている。

### 【全国及びその他】

全国的には、4月中旬まで例年と比べて高いレベルで推移しましたが、それ以降は例年並みのレベルで推移しました。

